

第七十四回 昭和十四年度一般會計歲出ノ財源ニ 特別委員會議事速記録第九號
帝國議會 貴族院 充ツル爲公債發行ニ關スル法律案

付託議案(追加)

北海道拓殖銀行法中改正法律案

金資金特別會計法中改正法律案

昭和十四年三月九日(木曜日)午前十時二

十二分開會

○委員長(子爵高橋是賢君) 是ヨリ會議ヲ

開キマス、本日ハオ忙シイ所ヲ大藏大臣ガ

御繰合セ御出席下サイマシタノデ、大藏大

臣ニ對スル御質問ヲ御願ヒ致シタイと思ヒ

マス

○子爵裏松友光君 ドナタモ御質問ナイヤ

ウデスカラ、私チヨット御質問致シタイノデ

アリマスガ、此ノ赤字公債ニ付キマシテモ約

七億圓位、又今度追加豫算ニ於キマシテ五

十億以上ノ公債ガ出ルト云フヤウナコトニ

ナリマス、更ニ又十四年度ニ於テナカナ

カ澤山ナ公債ガ出ルコトニナリマスガ、大

藏大臣ハ屢々衆議院其ノ他ニ於テ、強制シテ

持タセルト云フコトハシナイ積リダト云フ

コトヲ再三述べラレテ居ルヤウデアリマス

ガ、金融機關其ノ他ニ於テ順調ニ消化ガ行

クト云フ風ニ思召スノデアラウカ、又更ニ

今年ハ其ノ金融機關ノミナラズ、個人ニ對

シテモ成ルベク公債ヲ持タセルト云フ御方

針ナルヤニ伺ッテ居リマスガ、果シテサ

ウ云フ風ナ御意思ガゴイマスカ、個人ニ對

シテ公債ヲ持タシテ、公債ノ民衆化ト云フ

コトヲ圖レト云フコトハ、再三此處ノ委員

會ニ於テモ、多クノ委員カラ唱ヘラレテ居

ルコトデゴザイマスガ、其ノ點ニ付テ大藏

大臣ハドウ云フ思召デイラシヤイマスカ

○國務大臣(石渡莊太郎君) 公債ノ發行額

ハ、前年度豫算ニ於キマシテ軍事豫算、一

般會計豫算、特別會計豫算總テ合セマシテ、

五十六億四千萬圓發行ノ豫定デゴザイマシ

タガ、今年ノ豫算ニ於キマシテハ、只今迄

議會ニ提案ヲ致シテ居リマスル分ニ付テ算

定ヲ致シテ見マスルト、一般會計豫算、臨

時軍事費豫算、陸海軍追加豫算等ヲ合セマ

シテ五十七億三千萬ト思ッテ居リマス、公債

ノ發行高ハ先ヅ大體ニ於テ前年度ト餘リ變

リハナイ、此ノ上ニ普通豫算ノ追加豫算ガ

出マシタ所デサウ大シタ額デハゴザイマセ

ヌカラ、勿論約六十億以下デ豫算ヲ組ンデ

居ルノデゴザイマスガ、六十億デアリマス

レバ、豫定致サレマシタ公債ノ額トシテハ

サウ大シテ増加致シマセヌ、先ヅ大體ニ於

テ本年度ト同ジ位ノ公債ノ發行高、斯ウ承

知シテ戴イテ宜イノデハナイカト思ヒマス、

唯五十六億四千萬圓、五十七億三千萬圓ト

申シマシテモ、詰リ前年ノ發行未済額ト云

フモノト合セマス、ソレハ相當餘計ニナッ

テ來ルノデアリマス、ソレカラ前年ノ發行

未済デ、翌年度ニ於テ發行高ヲ送ラレル分

モアリマスカラ、私共ノ今ノ腹案ト致シマ

シテハ、昭和十四年度ノ公債ノ發行高ト云

フモノハ大體ニ於テ前年度ト大差ナイト、

斯ウ云フ見込デ運ンデ居ル次第デアリマス

ルノデ、此ノ公債ノ消化ニ付キマシテモ、

先ヅ大體ニ於テ昨年ノ如ク順調ニ消化サレ

テ行クベキモノト思ッテ居ルノデアリマス、

貯蓄ノ狀況ハ引續キ極メテ良好デゴザイマ

シテ、今年預金部ニ於キマシテ郵便貯金ノ

集ッテ居ル結果、八億圓ノ公債ノ引受ノ積

リデアリマス、前年ハ五億圓デアリマシタ

ガ、昭和十四年度ニ於テハ十二億圓ノ引受

ヲ今豫定致シテ居ルノデアリマスガ、斯ウ

云フヤウナコトデ行キマスルナラバ、公債

ノ消化ト云フモノハ私ハ順調ニ運ブモノト

思ッテ居ルノデアリマシテ、強制的ニ保有

致サセル考ハ持ッテ居リマセヌ、個人ニ國債

ヲ汎ク分布シテ行クト云フコトハ、是ハ極

ク必要ナ事ト存スルノデアリマシテ、既ニ郵

便局ニ於テ賣ッテ居リマスル國債モ、サウ買

戻シテ居ルモノハゴザイマセズ、此ノ方面

ニ於テ更ニ一段ノ力ヲ盡シマシテ國債ノ民

衆化ヲ圖リタイ、斯ウ存ジテ居ル次第デア

リマス、一面ニ於テハ物價ノ問題モ非常ニ

關係致シテ來ルノデアリマスカラ、物價ト

貯蓄ノ關係ハ因トナリ緣トナリ相俟ッテ現

レテ來ルモノト思ヒマスノデ、一方ニ於テ

ハ物價騰貴ヲ抑ヘル所ノ必要モ勿論アルノ

デゴザイマスガ、貯蓄ノ獎勵ヲシテ、此ノ

旺盛ナル貯蓄力ニ依ッテ公債ヲ消化シテ行

キタイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○子爵裏松友光君 只今ノ御説明ニ於テ大

體諒承致シマシタ、公債ノ消化ガ各金融機

關ニ於テサレコトハ誠ニ結構ナ事デゴザ

イマスガ、唯我々ノ心配スル所ハ、日本銀

行ガ公債ヲ所有シテ居ル額如何ト云フヤウ

ナコトニ付テ、近年ナカノ日本銀行ガ背

負ヒ込ム公債ノ額ト云フモノガ、相當ノ額

ニ上ッテ居ルヤウデアリマス、昨年ノ暮アタ

リ相當ノ額ヲ出シ、昨年ノ暮ヨリ今年ノ一

月二月ニナッテ稍、少クナッタヤウデアリマス

ケレドモ、マダ相當額ヲ持ッテ居リマスガ、

一體是レダケ大キナ公債ヲ出シデ置イテ、日本銀行デドノ位迄ハ背負ヒ込シデ宜イモノダラウカ、其ノ限度ト云フモノハナカナカ是ハムツカシイコトダラウト思ヒマスケレドモ、一般常識上、此ノ位ノ限度迄ハ日本銀行デ持ツモ宜イモノダト云フ何カ、目安ト云フモノガオアリデアリマセウカ、其ノ點ヲ伺ヒマス

○國務大臣(石渡莊太郎君) 日本銀行ガ自分ノ所持公債ノ増加致シマスコトハ、斯ウ云フ際ニ於テハ勿論歡迎致サヌ所ノ現象デアルト存ズルノデアリマシテ、出來ル限リニ日本銀行デ公債ヲ持ツコトノ額ヲ少ク致シタイト思ッテ居リマスルコトハ、是ハ申ス迄モナイコトデアリマス、結局日本銀行デ公債ヲ持ッテ居ル保有額ノ増加ト云フコトハ、ソレダケ札ガ市中ニ流通シテ居ルト云フコトデ、斯ウ云フコトデ一面ニ於キマシテハ、其ノ方面カラ來ル所ノ各種ノ惡影響ニ付テ心配スル必要モアルト存ズルノデアリマス、昭和十三年ノ六月末ガ十二億一千四百萬圓、昭和十三年ノ末ガ十六億三千百萬圓デゴザイマスガ、三月七日、一昨日ノ手持トシテハ十五億二千三百萬圓、十三年ニ較ベマスト、二月半バカリノ間ニ、公債ヲ七億發行致シテ居ルノデゴザイマスガ、

公債ノ消化致シマシタノハ八億一千萬デアリマシテ、結局昭和十三年末カラ見マスルト、一億一千萬圓減ッテ居ルヤウナ狀況デゴザイマシテ、此ノ一月以來最近ノ實況ニ於キマシテハ、比較的私ハ順調デアルト思ッテ居ルノデゴザイマス、ドウモ此ノ十月、十一月、十二月ト申シマスモノハ、何時モ金融繁忙時期ニ入ッテ來マシテ、殊ニ十一月、十二月ニ國債ガ多少何時モ滯ル傾向ヲ示シテ居ルノデゴザイマスガ、是ハ今後ニ於キマシテ餘程注意致シマシテ、出來ル限リ此ノ日本銀行ノ所持公債ニナラヌヤウニ、更ニ工夫シタイト存ジテ居ル次第デゴザイマスガ、最近ノ狀況ニ於キマシテハ、昨年ノ下半年ニ較ベマシテ、極メテ順調デアルト云フコトヲ報告致シテ置キタイト存ジマス、尤モ三月ノ今月ハ年度末デゴザイマスカラ、年度末ノ終ヒニ行キマシテ多少公債ガ増發致サレルコトト思フノデゴザイマスガ、此ノ點ニ付テハ更ニ考ヘル必要モアルト思ヒマスガ、今日迄ノ所ハ、比較的最近ノ狀況ハ順調デゴザイマス

○子爵松友光君 只今議題ニナッテ居リマス法案ニ付テ、赤字公債ノ先ヅ七億幾ラ、又今度追加豫算デ龐大ナモノヲ出スト云フヤウナコトニナリマスガ、去年モサウデゴ

ザイマシタガ、又來年モサウカモ知レマセマスガ、ドウモ理想的ニ申シマス、追加豫算デ非常ニ大キナ公債ヲタントソコヘ持ッテ來ルト云フノハ、ドウモ色々審議スル上ニ非常ニ不便ダシ、此ノ次ノ十五年度ノ豫算モ御編成ニナル時ハ、成ルベク本豫算ニ於テ巨額ノ色々公債ヲ募集サレルナラバ、ソレヲ本豫算ニ於テ計上サレルト云フコトニシテ、追加豫算ノ方ヘハ餘リ御廻シニナラナイ方ガ宜イノデヤナイカ、建前ハドウシテモサウデナクテハナラナイト私ハ思フノデアリマスガ、其ノ點ニ付テ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(石渡莊太郎君) 臨時軍事費豫算ハ、是ハ普通ノ會計年度ト異ナル會計デアリマスカラ、其ノ時ノ豫算ノ餘裕ノ關係モアリマスノデ、議會初メニト云フ譯ニハ是ハムツカシイカト思フノデアリマス、普通ノ一般ノ追加豫算ニ付キマシテハ、是ハ裏松子爵ノ仰セノ通り、ソレハ確カニサウデアルト思フノデアリマス、追加豫算ニ餘計ナモノヲ廻スト云フヤウナコトハ、是ハ固ヨリ豫算ノ本義デハゴザイマセヌ、今回陸海軍ノ追加豫算ト云フモノハ比較的多額ノモノガ追加豫算ニ廻ッテ居ル、又一般會計ノ追加豫算其ノ他ノモノニ付テモ相當現レテ

來ルト云フヤウナ狀況ハ、是ハ本年特有ノ狀況デゴザイマシテ、臨時軍事費ト陸海軍ノ追加豫算トノ間ニハ、相當彼此見合ヒヲ致ス關係モアリ、又一面ニ於テハ金ト物トノ間ノ關係ヲ見定メル關係モアリマス、普通ノ追加豫算ニ致シマシテモ、陸海軍以外ノ追加豫算ニ致シマシテモ、物ヲ相當必要トスル豫算ガアルモノデゴザイマスカラ、之ヲ一般會計豫算トシテ、早急ニ決メ得ナカッタモノモアルノデアリマス、ソレ等ノ事情カラシテ、一面ニ於テハ物資ノ補給計畫ノ間ニ合ハナカッタヤウナ點モアルノデアリマシテ、從ッテ追加豫算ガ相當多額ナモノニナッテ來テ居ルノデゴザイマスガ、是等ハ勿論非常時局ニ於キマスル特異ノ現象デアリマシテ、常道デナイコトハ十分承知致シテ居ルノデアリマス、本年度ノ昭和十五年

年度ノ豫算ノ編成ニ當リマシテハ、一面ニ於テハ物ノ關係ノ計畫ヲ今少シ迅速ニ致シマシテ、御審議ニ御差支ノナイヤウニ致シタイト思ッテ居リマス

○子爵松友光君 大體諒承致シマシタ、私ノ質問ハ是デ終リマス

○野村茂久馬君 年度内ニ發行出來ナカッタ公債ハ、ドンナ始末ニナリマスカ

○國務大臣(石渡莊太郎君) 年度内ニ公債

ヲ發行シ得ナカッタモノニ付キマシテハ、
二種類アルト思フノデアリマス、一ツハ其
ノ年度内ニ節約其ノ他ノ原因カラシテ不用
ニ相成ル費目ガゴザイマス、ソレカラ又此
ノ自然増収等ノ多額ニアリマシタ結果、豫
定致シマシタ公債ヲ發行シナクトモ濟ム場
合ガゴザイマス、斯ウ云フヤウナモノハ公
債ヲ發行致シマセヌ、是ハ發行スル豫定デ
アリマシタガ公債ヲ發行スル必要ガ消滅シ
タ譯デゴザイマスカラ、斯ウ云フモノニ付
キマシテハ公債ヲ發行致シマセヌガ、費目
ヲ翌年度ニ繰越スコトノ出來ルモノ、サウ
云フ其ノ費目ニ該當スルモノニ付キマシテ、
公債ノ附イテ居ルモノニ付キマシテハ、是
ハ翌年度ニ於テ公債ヲ財源トシテ其ノ仕事
ガ行ハレルノデゴザイマスカラ、自然公債
ガ發行サレルコトニ相成ル譯デゴザイマス

○野村茂久馬君 ソレデヤ發行未済ノモノ
ガ繰越ガ出來マシテ、次年度ノモノニ繰越
シテ加算スルコトガ出來テ行キマスカ
○國務大臣(石渡莊太郎君) 左様デゴザイ
マス、今ノ御尋ノ點ハ赤字公債法ニモ其ノ
コトガ法律上書イテゴザイマシテ、七億圓
ノ一般會計ノ赤字公債ヲ募集スルコトガ出
來ルガ、ソレハ翌年度ニ於テモ繰越シテ發
行スルコトガ出來ル、斯ウ云フ風ナコトニ

相成ッテ居ルノデアリマシテ、サウ云フ費目
ニ付テハ左様ニ扱ッテ居ル次第デアリマス
○子爵綾小路護君 私チヨット伺ッテ見タイ
ノデスガ、是ハ政府委員ノ御方デモ結構デ
アリマスケレドモ、丁度大臣ガ御見エニナッ
テ居リマスノデ、……近頃銀行ガ支店ヲ
増設スルノデアリマスガ、是ハ貯蓄獎勵ト
云フヤウナ政策ノ關係ヲ持ッタモノデアリ
マセウカ、如何デアリマセウカ
○國務大臣(石渡莊太郎君) 是ハ貯蓄ノ獎
勵ノ機會ニ於キマシテ、銀行ノ支店ノ少イ
方面ニ於キマシテ、主トシテ此ノ東京市ノ
郊外、大阪市ノ郊外等ニ於テ銀行ノ支店ノ
増設ヲ認メタ次第デアリマス、銀行ノ支店
ガ、是ハ一時此ノ銀行ノ整理、又地方銀行
等ニ對スル心配カラシマシテ、大銀行ノ支
店ト云フモノニ付テ極端ナ制限ヲ加ヘテ居
タノデゴザイマスルガ、私ハ場所ニ依ッテ
ハ今日ノ支店ガ少ナ過ギルト思フノデゴザ
イマス、今日ノヤウナ大時局ノ場合ニ於キ
マシテ、少シ遠方ニ電車デ通ッテ行ッタイ
シマシタノデハ、ソレダケデ以テ金利デモ
何デモ飛ンデ行ッテシマフヤウナ場合モ隨
分多イノデゴザイマシテ、先般モ色々調ベ
マシタル結果、蒲田ナント云フ所ハ昔田圃
ト畑バカリデアリマシタノデ、今日アレダ

ケノ人口ヲ持チ、アレダケノ町ヲ形成致シ
テ居リマスケレドモ、色々調べテ見マシタ
處銀行ガ一ツモナイ、サウ云フヤウナコト
ニナッテ居リマシテ、可ナリ極端ナ狀態
デアリマスノデ、斯ウ云フ所ニハ相當支店
ノ設置ヲ多數ニ認メマシタ、三井トカ三菱
トカ第一銀行デアリマストカノ大銀行ノ支
店デアリマシタナラバ、其處ニ二ツ三ツ置
キマシタ所デ、オ互ニ預金ノ爭奪ガアリマ
シタ所デ、別ニ銀行自體ニ對シテドウト云
フ關係モゴザイマセヌノデ、今後ニ於キマ
シテモサウ云フ方針ヲ以テ多少増置致シテ
行キタイ思ッテ居リマス
○子爵綾小路護君 地方ニ於キマス關係ハ
ドウデゴザイマスカ
○國務大臣(石渡莊太郎君) 地方銀行ノ妨
ガニナルヤウナコトハ出來ルダケ避ケタイ
ト思ッテ居リマス、尤モ其ノ地方ニ於キマシ
テ、其ノ銀行ノ特異性ノアルヤウナ所ガア
ルト存ジマス、例ヘバ昨年モ三菱銀行ノ支
店ヲ林方面ニ認メタカト思フノデアリマ
スガ、是ハ其ノ方面ニ於キマス三菱ノ重工
業ノ關係ガアルノデゴザイマスノデ、旁
サウ云フ所ニ認メタ例ハゴザイマス、主ト
シテ支店ノ増設、増置ヲ考ヘテ居リマスノ
ハ、東京市外デゴザイマストカ大阪ノ郊外

ノ方面デゴザイマストカ新市ノ方面ニ對シ
マシテ、銀行ノ支店ノ設置ト云フコトハ考
ヘテ居ル次第デゴザイマス
○子爵綾小路護君 モウ一ツ序ニ伺ヒマス
ガ、近頃政府筋ノ仕拂關係ハ、非常ニ有ラ
ユル方面ニ於テ増加致シテ參ッタ思フノ
デアリマスガ、是等ニ對スル仕拂ニ對シテ、
政府ハドンナ風ナ御方針デヤッテイラシヤ
イマスカ、其ノ監督ハ十分ニナスッテ居ラ
ルトハ思ヒマスガ、其ノ邊ノ模様ヲ承リタ
イト思ヒマス
○國務大臣(石渡莊太郎君) 政府ノ仕拂ノ
増大致シマスルコトハ、豫算ノ増加ト共ニ
増シテ來ルノデゴザイマスガ、主トシテ軍
需品ノ購入代價ノ仕拂ニアルト思フノデゴ
ザイマスルガ、是等ニ付キマシテハ陸海
軍省トモ緊密ナ連絡ヲ取リマシテ、間違ノ
ナイヤウニヤッテ居ル積リデゴザイマス、軍
需品製造デアリマスノデ、一面ニ於キマシ
テハ前金拂ヲ、從來カラ致シテ居ル點モゴ
ザイマスシ、又其ノ後此ノ點ヲ擴張致シタ
點モアルノデゴザイマシテ、前金拂モ相當
多額ニ行ッテ居ル次第デアリマス、其ノ監督
ニ於キマシテハ、十分監督ヲ致シテ居ル次
第デアリマス
○稻畑勝太郎君 此ノ表ノ中ニ「赤字、藤原

委員ノ御要求」ノ「本邦外貨公社債ノ償還期限調」ト云フノガアリマスガ、此ノ中ニ「東京市電氣事業公債八千六百九十五萬七千法」トアリマス、是ハ豫テ東京市ト「フランス」ノ債權者トノ「フランス」ノ問題デ懸案ニナツテ居ル公債デアラウト思ヒマスルガ、此ノ解決ハドウ云フコトニナツテ居リマスカ、太藏大臣ニ御尋ネシタイト思フノデアリマス、ト云フモノハ歐洲大戰ノ起リマシタ際ニ、「フランス」ハ我が國ニ於テ、「フランス」カラ軍事公債ヲ募リタイト云フコトヲ申出マシテ、アレハ二回程ニ互ツテ我が國ガ此ノ「フランス」ノ軍事公債ニ應募シタコトガアルノデス、ト云フモノハ第一回ノ軍事公債ハ特ニ其ノ當時ノ東京駐在「フランス」大使ノ「ルニオル」ト云フ人カラ私ニ相談ガアリマシテ、今「フランス」ガ此ノ軍事公債ノ必要デアル重大時局ニ遭遇シテ居ルノデ、日本カラ金ヲ借リタイ、ソレニハドウ云フ方法デドナタニ相談シタラ成功スルダラウト云フ質問ガアリマシタカラ、官界ニ於テハ松方侯ニ諒解ヲ得ルガ宜カラウ、又實業家デハ澁澤子爵ニ相談スルガ宜カラウト云フコトヲ申シマシテ、此ノ日本ノ二大巨頭ト申シマスカ、此ノ方ニ自分ハオ馴染デナイカラ紹介シテ吳レト云フコトデ、澁澤子爵ニ紹介シマシ

タラ、澁澤子爵ハ非常ニオ喜ビニナツタノデス、ト云フモノハ、自分ハ會テ「ナボレオン」三世ノ時代ニ、日本ノ徳川……水戸侯ガ大使トシテ「パリ」ノ博覽會ニ行カレタ時分ニ一緒ニ行ッテカラモウ五十年餘ニナル、五十年餘ノ今日迄、「フランス」カラ日本ニ依頼シテ、金ヲ日本カラ貸シテ吳レト言ウテ來タコトヲ聽イテ、自分ハ非常ニ愉快トスル、スルカラシテ自分ハ斡旋ショウ、斯ウ云フ話デアリマシタ、松方侯ノ所ニ紹介致シタラ、松方侯モ非常ニ御歡迎ニナツタ、其ノ理由ハ、自分が會テ「アメリカ」ニ居タ時ニ、「アメリカ」ノ銀行家ガ自分ニ尋ネルノニハ、日本ノ銀行ノ制度ト云フモノハ「フランス」ノ銀行制度ニ能ク似テ居ル、ドウ云フモノデアルト云フコトヲ質問シタガ、ソレハ私ガ「アメリカ」ノ銀行家ニ言ウタノニハ、是ハ實ハ自分ガ「パリ」ノ萬國博覽會ノ總裁トシテ行ッテ居ル時分ニ、「フランス」ノ經濟學者ノ「レオンセイ」ニ銀行制度ノコトヲ質問シタラ、自分ノ部屋ニ机ヲ置クカラシテ、サウシテソコデ日々ノ事ヲ御研究ニナツタラドウデアルカト云フノデ、自分ハ「レオンセイ」ノ部屋デ銀行ノ制度ヲ研究シテ歸ッテ來テ、日本銀行ト云フモノヲ設ケ、又國立銀行ヲ設ケタノデアルト云フヤウナ御話ガ

アツテ、是亦老侯ハ此ノ「フランス」ノ依頼ヲ御歡迎ニナツテ、第一回ノ「フランス」公債ト云フモノハ日本デ成立シタノデアリマス、其ノ後又續イテ我が國ハ「フランス」ノ公債ニ應ジタノデアリマスルガ、之ヲ又此ノ時期ト金額ヲ御調べ下サレマシテ、「フランス」ノ軍事公債ナルモノハ何回ニ互ツテドレダケノ金ヲ日本ガ貸シタノデアルカト云フコトヲ、後デ宜シウゴザイマス、御調査ノ上伺ヒタイト思フノデアリマス、シテ見ルト今日日本ガ斯ウ云フ時局ニ遭遇シテ居ルナラバ、何故日本ハモット此ノ「フランス」ニモ、「フランス」ガ困難シテ居ル時ニハ日本ガ之ヲ隨分援助シタト云フヤウナコトヲ、「フランス」ノ輿論ニ對シテ始終之ヲ忘レナイヤウニ喚起サレテ居ルモノカ否ヤト云フコトヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、又同時ニ、今此ノ「フランス」ノ東市市ノ公債ト云フモノガ問題ニナツテ居ッタガ、解決ガ著イタノデアリマスルカ、ドウ云フ状態ニアルモノデアリマスルカ、是等モ伺ッテハッキリシタイ、シテ以テカラニ、今日日本ガ此ノ歐洲大戰ノ時ニハ、隨分「フランス」ニ盡シテヤッタノデアリマスルカラ、此ノ事ヲ遠慮シテ黙ッテ居ルト云フコトデハ、「フランス」ノ大衆モ知ラナイコトデアアル、マア總テ

斯ウ云フ「フランス」ト申サズニ、各國ニ對シテモ、我が國ガ歐洲大戰ニ盡シタコトハ、軍事上ハ無論ノ話デアアルガ、財政上ニ於テモ其ノ事柄ガアレバ、是ハ遠慮ナク各國民ニ喚起サスベキ事柄ト思フノデアリマス、故ニ此ノ歐洲大戰ノ時分ニ、「フランス」ノ公債ガ何回、ドウ云フ條件デ、ドウ云フ金額デ應募シタカ、ソレカラ東京市ノ「フランス」ノ公債ノ解決ハドウナツテ居ルカト云フコトヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、ソレカラ續イテ先刻御質問ニナリマシタ公債ヲ大衆化セニヤナラス、ドウモ今日迄我が國ノ習慣ガ、公債ト云フモノハ銀行トカ或ハ富豪階級、「ブルジョア」以上ノ者ガ持ツモノデアルト云フヤウナ觀念ガ、今日ニ於テモマダ日本ノ大衆ニハ殘ッテ居ラウト思フノデアリマス、ト云フモノハ、一向其ノ大衆ニ對シテノ勸誘ノ宣傳ガ私ハ足ルマイト思フノデス、成ル程近頃ハ貯蓄ヲ非常ニ御獎勵ニナル、貯蓄ガ殖エサヘスレバ、ソレガ即チ公債ニ還元スルト云フノモ、是ハ一ツノ方法デアリマスルガ、併シ大衆ニ公債ヲ持タスト云フコトノ宣傳、教育ト云フコトガマダ十分徹底シテ居ナイヤウニ思フノデス、嘗テ此ノ歐洲大戰ノ習年ニ、私ガ米國ヘ參リマシタ時分ニハ、例ヘバ米國ガ第五回ノ軍事公

債ヲ歐洲ノ戰爭ガ濟シデカラ募集シテ居ル時デアリマシタガ、其ノ公債ヲ募集スル爲ニ、「ニューヨーク」ニ於テ軍部ノ行列ガアリマシタ、其ノ行列ニハ色々各隊ガ少シ宛、或ハ砲兵トカ、或ハ歩兵トカ、或ハ衛生隊、或ハ輜重兵トカ云フヤウナモノガ皆順ヲ逐ウテ列シテ行ク、ソレニハ其ノ都度「アメリカ」ノ旗ヲ立テテ、サウシテ長イ十町二十町ニ亘ッテ行列ガアリマシタガ、其ノ行列ヲスルノハ何デアアルカト云フト、國民ニ第五回ノ公債ノ應募ヲサス、是ダケノ軍隊ガ「ヨーロッパ」ヘ行ッテ戰爭ニ從軍シタ、而シテ其ノ後始末ニハ公債ガ要ルノデアアルカシテ、此ノ公債ヲ持テト云フ目的デ軍隊ノ行列ガアツコトヲ覺エテ居ル、ソレカラ寄席ニ行クト、芝居トカ或ハ活動寫眞ト云フヤウナ所デ、丁度興行ノ真中頃デ負傷シタ兵隊ヲ一人引張ッテ來ル、サウシテ其ノ横手ニ黒板ヲ持ッテ來マシテ、塗板ヲ持ッテ來マシテ、ソコデ其ノ芝居ヲヤッテ居ル花形ノ女優モ出テ來ル、サウシテ幕ノ間ニ、ドウゾ此ノ兵隊サンハ歐洲大戦デ腕ヲ一本取ラレタノデアリマス、此ノ腕ヲ買ッテヤッテ下サイ、ソレニハ第五回ノ公債ニ應募ヲシテ下サイト申シマス、黒板ニ、例ヘバ日本デ言ヘバ鹿兒島縣ノ人ガ出テ居ル、サウスルト鹿兒島縣ト云ヘバ

鹿兒島デ五百「ドル」ノ公債ヲ持ツ、鹿兒島五百「ドル」、或ハ其處ニ大阪ノ人ガ來テ居ル、大阪ノ人ガ大阪府トシテ或ハ二千「ドル」、其ノ他デ丁度段々其ノ勧誘シタ結果八千「ドル」位ニナツタ、モウアト二千「ドル」氣張ッテ下サイト言フノデ、トドノシマヒニ各見物人ノ出生地ノ縣ノ名前ダケヲ書イテ一萬「ドル」、其ノ場所デ一萬「ドル」ノ公債ノ應募者ガアツコトヲ私ハ記憶シテ居ルノデアリマスガ、無論日本ノ國情ト「アメリカ」ノ國情トハ全然違ヒマス、又人氣モ違ヒマスルガ、併シ何トカモウ少シ鳴物入、是ハ藤原君ガ付ケラレタ言葉デアリマスガ、鳴物入ノ公債ノ募集ヲスルト云フコトデ、大衆ニ公債ヲ持タス、現ニ政府ニ於カレマシテモ小額ノ公債ヲ御發行ニナツテ居ル、小額ノ公債ト云フモノハ詰リ大衆化スルト云フ御趣意カラ出テ居ルノデアリマスガ、モット大衆ニ競ウテ公債ヲ持タスト云フコトヲ努力遊バシタラ如何デアラウカト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、殊ニ一方デハ、世間デハドウモ軍需工業ニ從事シテ居ル職工ガ收入ガ多イ、收入ガ多イカラシテ從ッテ隨分浪費ヲスルト云フヤウナ説ガ、世間一般ニ擴ガツテ居ルノデアリマスカラ、是ハマア人情トシテ收入ガ多ケレバ自然ト贅澤ニナルト

云フコトハ、是ハ已ムヲ得ナイコトデアリマスガ、其ノ多イ收入ハ兎モ角モ公債ヲ持タスト云フヤウニ、何トカ軍需工場内デモ、強制的デナクテモ鳴物入デ以テ心カラ其ノ公債ヲ持ツ、贅澤ヲスル代リニハ是デ公債ヲ持ツ、收入ガ餘計アリ不要ナ金ガアツタナラバ公債ヲ持ツト云フヤウナ、一ツ「プロパガンダ」ヲ御ヤリナサル御考ハゴザイマセヌカ、之ヲ大藏大臣ニ伺ヒタイト思ヒマス

○藤原銀次郎君 稻畑サンノ御質問ニ關聯シテ、大藏大臣ノ御答ニザル前ニ私カラチヨット關聯シテ質問ヲ申上ゲタイト思ヒマス、過日來、大藏省ノ政府委員ト私共赤字公債委員ノ間ニ質問應答ヲ重ネマシタ、其ノ結果明瞭ニナリマシタノハ、政府モ小額公債ヲ募集シテ、公債ヲ只今稻畑サンノ仰シヤルヤウニ民衆化シテ、成ベク一般ニ大衆ガ公債ヲ持ツヤウニシタイ、其ノ御趣意デアルト云フコトダケハ明カニナツテ居リマスガ、其ノ御取扱ヲ見ルト云フト、小額公債ト云フモノヲ持ツ人ハ、非常ニ計數上ノ利益ナ地位ニ立ッテ居リマス、十圓トカ二十圓トカ云フヤウナ公債ヲ、例ヘバ政府ガ募集セラレテ、其ノ時ニハ郵便局ニ若干ノ極ク僅カノ手数料ヲ御拂ヒニナツテ、ソレヲ今度政府ニ買上ゲテ貰フト云フ時ニハ、割引ガ相當ノ金額デ、例ヘバ一枚ノ十圓券ニ對シテ十二錢御取リニナツテ居ル、ダカラシテ百圓ニ對シテ一圓二十錢ノ手数料ヲ政府ガ御取リニナツテ居ルト云フヤウナコトニナツテ居ルサウデアリマス、サウスルト云フト、僅カナ公債ヲ持ツ人ハ、百圓ノ公債ヲ買ッテ、政府ニ之ヲ買上ゲテ貰フ時ニ、一圓二十錢ノ手数料ヲ政府ニ取ラレルト云フコトニナルノデアリマシテ、計數上カラ言ッテモ非常ニ不利益ナコトニナツテ居ルト云フコトガ明カニナルノデアリマス、ソレカラ其ノ次ニハ、政府ガ公債ヲ募集スル時ニハ、三等郵便局ナドニ募集手数料ヲ御拂ヒニナツテ居ルケレドモ、之ヲ買上ゲル時ニハ、其ノ郵便局ニ手数料ヲ御拂ヒニナツテ居ラス、今ノ百圓ニ對シテ一圓二十錢ノ手数料ヲ御取リニナル、其ノ手数料ハ全部遞信省ノ所得ニナル、サウ致シマス、三等郵便局ノヤウナ規模ノ小サクテ仕事ガ混雜シテ居ル郵便局ナドデハ、サウ云フモノヲ無手数料デ取扱フト云フコトダカラ、非常ニ難儀シテ居ルダラウト思ヒマス、ダカラシテ成ルベクサウ云フモノヲ扱ハナイヤウニシタ方ガ、郵便局ノ利益ダト云フヤウナ結論ニナルノデヤナイカト思ッテ居リマス、デアリマスカラシテ、

今稻畑サンノ仰シヤルヤウニ、我々ト致シマシテハ、ドウシテモ小額公債ヲ普及スルニハ、モウ少シ宣傳ヲシテ、サウシテ國民ガ、大衆ガ心持好クソレデヤ成ル程公債ヲ持ツタ方ガ宜カラウト云フヤウナ風ニシテ、進ンデ公債ヲ澤山持ツヤウニ、第一ニハ宣傳ヲ努メ、其ノ次ニハ、サウ云フ宣傳ヲスルニハ費用ガ掛リマスカラ、其ノ費用ハ矢張り募集手数料ノヤウナモノヲモウ少シ奮發シテ御拂ヒニナツテ、其ノ引受人ガサウ云フ宣傳ヲシテモ損ニナラナイヤウニ、大衆モソレデ損ガ行カナイヤウニシテ、詰リ募集スル時ニモソレカラソレヲ買上ゲル時ニモ、モウ少シ大衆ノ利益ニナルヤウニ計數上ノ御取扱ヲ願フノト、其ノ次ニ宣傳ヲスルノト、斯ウ云フ工合ニシテ相俵テ行クト云フコトガ必要デヤアルマイカ、尙其ノ上ニ、是ハ公債バカリデアリマセヌ、貯蓄獎勵ノコトニ付キマシテモ同じ主義デ行ツタラドウデアラウカ、即チ民間デハ、例ヘバ保險ヲ募集スルニ致シマシテモ、ナカ／＼募集ニ手数料ガ掛カテ居リマシテ、皆非常ナ努力ヲシテ居ル、長期ノ貯金ヲ獎勵致シマスノデモナカ／＼努力ヲシテ、私ハ事實カドウカ知リマセヌガ、或ル新聞ニ出テ居ルノヲ見マス、保險會社若シクハ貯蓄銀行ノ

勸誘員ガ、千五百圓モ二千圓モ收入ガアツト云フヤウナコトガ出テ居リマス位ニナカナカ努力ヲシテ居リマス、其ノ結果、過日大藏省カラ頂戴シタ資料ニ依ッテ見マシテモ、我が國ノ貯蓄ト云フモノガ非常ニ殖エテ、純粹ノ貯蓄デサヘモ四十八億昨年ハ殖エタト云フヤウナ譯デアリマスカラ、非常ナ好成绩デアツテ、私共ハ非常ニ満足シ喜ンデ居ルノデアリマスガ、段々ニ軍需景氣ガ盛ニナツテ來ルト同時ニ、貯蓄獎勵ト云フコトモ必要ナ問題デアツテ、其ノ點ニ於テハ大藏大臣モ非常ニ御盡力ニナツテ居ルコトハ私共承知シテ居ッテ大イニ感謝シテ居ル譯デアリマスガ、是モ公債募集ト同じヤウニ、モウ少シ貯金獎勵モ鳴物入デ一般大衆ニ、比較的収入ノ多イ、動モスレバ浪費ヲシテ徒ニ下町ヲ賑ハシテ居ルヤウナ傾向ニナリツ、アル今日ノ狀態デアリマスカラシテ、一層サウ云フ所ニ力ヲ入レテ、サウシテ今迄ヨリハ更ニ一層色々ナ方法ヲ講ジテ獎勵ヲスルト云フコトガ必要デハナイカト云フヤウニ思ッテ、過日來サウ云フ質問應答ヲ致シテ參ツタノデアリマスカラ、稻畑サンノ御質問ニ關聯シテ、サウ云フ點ニ付テ大藏大臣ヨリ直接御答辯ヲ承ツタラ、大變一般ノ參考ニナラウカト思ヒマス、併セテ御願ヒ致シマス

○國務大臣(石渡莊太郎君) 稻畑サンカラノ第一ノ御尋ハ、日本デ歐洲戰爭ノ時ニ「フランス」ノ求メニ應ジテ金ヲ貸シタ、其ノ公債ガドウナツテ居ルカ、ドウ云フ狀況デアッタラウカト云フ御尋デアルト思フノデアリマス、歐洲戰爭ノ時分ニハ、「フランス」ノ公債ニ應ジ、又「イギリス」ノ大藏省證券ニモ應ジタト思フノデアリマスガ、ソレ等ハ今日皆償還ヲ受ケマシテ、ゴザイマセヌケレドモ、其ノ當時ノ狀況ヲ調べマシテ後刻御報告致スコトニ致シマス、東京市ノ「フランス」カラ借りテ居リマス公債ノ問題ニ付キマシテハ、其ノ後段々話ガ纏リツツアルノデアリマシテ、主ナ筋ニ於キマシテハ大變話ガ進ンデ居ルヤウナ狀況デゴザイマス、「フランス」ニ金ヲ貸シタノデ、當方ニ斯ウ云フ際ニ、オ前ノ方モ相當考ヘテ見タラドウダト云フヤウナ御説デゴザイマスガ、是ハ金ノ問題ト致シマシテハ、コチラガ借りタ方ガ餘程餘計デアアルノデアリマス、ソレニシテモ向フノ困ツタ時分ニコツチカラ金ヲ貸シタ、斯ウ云フ事實ハアルノデアリマスガ、矢張り今日ノ狀況ニ於キマシテハ、是ハ獨リ「フランス」バカリデゴザイマセヌ、「イギリス」ニシテモ「アメリカ」ニシテモ、此ノ方面カラ公債ヲ募集スルト云フ

コトハ極メテ困難ナ狀況ニアルコトハ御承知ノ通りデアリマシテ、今回ノ事變始リマシテカラ、其ノヤウナコトハ今日迄マダ話ガ成立致スヤウナ見込ハゴザイマセヌノデ其ノ儘ニ致シテアル次第デゴザイマス、御承知ノ通りニ日本ノ外貨債ハ暴落致シテ居ルヤウナ狀況デアリマスノデ、四分トカ五分トカ六分トカ云フヤウナ利率デ金ヲ借りルト云フコトハ、金ヲ貸スモノガアルナラバ、市場デ以テ日本ノ公債ヲ買ヘバ宜シイ、一割五分ニモ一割八分ニモ上ツテ居ルト云フヤウナ狀況デアアルノデアリマシテ、金ヲ借りルコトハ此ノ點カラ考ヘマシテモ極メテ困難デアルト思フノデアリマス、ソレカラ公債ヲ發行スル爲ニ今少シク宣傳シタラバ宜イデハナイカト、斯ウ云フ御説デゴザイマスガ、只今役所ノヤツテ居リマスルコトハ、可ナリ地味過ギル點モアルト思フノデアリマスガ、官廳ト致シマシテハ實ハ出來ルダケノ宣傳ヲ行ツテ居ル譯デアリマシテ、ラヂオ、浪花節、活動寫眞、「ボスター」、演說會、先ヅ其ノ外ニ官廳ノヤル宣傳トシテハ、實ハ考ヘ付キ得ナイ程ノ各方面ニ互ッテ宣傳ヲ致シテ居ル次第デアリマス、尤モモウ少シ「ポピュラー」ノコトヲヤル必要ガアルカモ知レマセヌ、御趣

旨ノ點ニ付キマシテハ十分今後ノ問題ト致シマシテ考究スルコトニ致シマスガ、今日迄郵便局賣出シマシタ約六億圓ノ公債ニ付キマシテハ、今日迄ノ處一般大衆ノ消化ト相成ッテ居ル譯デゴザイマシテ、公社債ヲ所有スル觀念ニ薄イ日本ノ一般大衆トシテハ、此ノ際ノ問題トシテ相當消化サレテ居ルト思ッテ居ルノデアリマス、又一ツ御示ノアリマシタ此ノ軍需品工場等ニ付キマシテハ、是ハ敢テ強制ト云フ言葉ハ用ヒマセヌガ、相當多額ノ國債ヲ此ノ方面ノ從業者ニ引受ケテ貰ッテ居ル譯デアリマシテ、昨年ノ七月ノ如キモ賞與ノ一部分ト云ヒマスカ、相當ナ部分ヲ此ノ公債ヲ買フト云フコトニ當テ貰ッテ譯デアリマシテ、是ハ全國的ニ左様ナル運動、左様ナル事ガ行ハレタノデアリマシテ、從ッテ昨年ノ十二月ニハ一億餘ノ郵便局賣出ノ公債ヲ發行致シタヤウナ次第デアッタノデアリマス、併シナガラ獨リ金融機關バカリデナク、一般民衆ニ公債ヲ有ッテ貰フト云フコトハ、今後ニ於テモ勿論必要ナコトデアリマスシ、又必要ガ増シテ來ルト思フノデゴザイマスカラ、此ノ方面ニ付キマシテハ更ニ一層ノ力ヲ盡シタイト存ジテ居リマス、藤原サンカラ、色々郵便局ノ賣ル場合ト買戻ス場合トノ間ニ問題ガア

ルデハナイカ、斯ウ云フ點モ宜シク改良スル必要ガアルト思フト云フ御意見デゴザイマスガ、ソレ等ノ點ニ付キマシテハ一ツ十分將來考究致シマス、郵便局カラ、各方面ニ對シテ勸誘其ノ他ニ付テ、廻リ方ガ少イト、斯ウ云フ御話モアルノデアリマスガ、是ハ實ハ相當ノ豫算ヲ昭和十三年度モ計上致シマシテ、据置貯金ノ市內進出ト云フコトヲ致シテ居ルノデアリマス、是ハ郵便貯金ノ新ラシイ方面ノ開拓ト思ッテ居リマス、處方貯蓄獎勵ノ結果、千萬人ヲ超ス千何百萬人ト云フヤウナ、此ノ人々ノ郵便貯金ノ通帳ガ増加致シタノデアリマシテ、實ハ此ノ千何百萬通ト云フ郵便貯金ノ通帳ノ作成ニ郵便局ハ日モ惟レ足ラザル有様デアアルノデアリマシテ、實ハ其ノ方面ノ仕事ニ大分追ハレタモノデゴザイマスカラ、一方折角ノ市街地ノ据置貯金ノ進出モ多少ソレガ爲ニ手ガ鈍ッテ關係モアルノデアリマスガ、併シナガラ是モサウ云フヤウナ原因、貯蓄ノ非常ノ激増ノ原因カラシマシテ、其ノ方面ノ手ガ鈍ッテ居ルノデアリマスガ、是等ノ郵便貯金ノ通帳ノ作製ガ一段落致シマシタ曉ニ於キマシテハ、其ノ方ノ手モ餘程伸びテ行クノデハナイカト思ッテ居リマス、御示ノ點ニ付キマシテハ將來ノ問題トシマシテ十

分考究スルコトニ致シタイト思ヒマス
○藤原銀次郎君 只今大藏大臣ノ御話ニ付キマシテ、大臣ガ豫テ熱心ニ我々ノ希望シテ居ルヤウナ、此ノ公債ノ民衆化ト貯蓄ノ獎勵ニ御努メニナッテ居ルコトハ、私共非常ニ御同感デ感謝致シテ居ル所デアリマスカラ、ソレニ付テ彼此申シテ居ルノデハゴザイマセヌ、ドウゾソレハ惡カラズ御諒察ヲ願ヒマスガ、私チヨット地方ニ參リマシテ、色々ナ人ニ會ッテ色々聽イテ見マシタ處ガ、民間ノ各工場ナドデ其ノ從業者ニ公債ヲ勸誘シテ持タセマシテ、從業者モ亦欣ンデ公債ヲ皆持ッテ居ルノデアリマスガ、是ヲ會社デ以テ扱フコトガ非常ニ困難シテ居ル、ト申シマスノハ、何千人トカ何萬人トカ、澤山ノ從業者ガアリマス、ソレガ小額ノ公債ヲ皆持チマスノデ、ソレヲ名前ヲ別ニシテ、サウシテ番號ヲ皆揃ヘル、サウシテ會社デ之ヲ扱ッテ行クト云フコトハ非常ニ困難デアッテ、各會社トモ之ヲ扱フコトヲ非常ニ困難ニ思ッテ居ル、去リトテ從業者ニ皆渡シテ自由ニ處分サセルト云フコトニナルト、ドウモ又直グニ安クテモ何デモ其ノ公債ヲ賣ッテシマッタリ何カシテ、貯蓄ノ目的ヲ達シナイト云フヤウナ危險モ幾分宛アルノデアリマス、之ヲ日本銀行カ、或ハ興業銀行カ、或

ハ何處ノ銀行カ知リマセヌガ、其ノ銀行モ隨分御迷惑ナコトデアリマスガ、餘リ澤山ナ手数料ヲ取ラナイデ、公債ヲ扱フト云フヤウナコトヲヤッテ戴ケレバ、公債ヲ勸誘シテ募集サセルノニ大變都合ガ好イ、今ノ所デハ、公債ノ保管ヲ願フニハ保管ノ手数料ヲ相當ニ出サナケレバナラス、其ノ金額ハ忘レマシタガ、サウ云フコトハ、斯ウ云フ時局ノ際ダカラシテ何トカ御考ヲ願ッテ、サウシテ公債ヲ何處カ扱フ處ヲ決メテ、サウシテ無手数料デ公債ヲ保管シテヤルト云フヤウナコトニ願ヘレバ、民間ノ方ハ公債ヲ勸誘スルノニ非常ニ便利デアルト云フヤウナコトヲ各處デ聽キマシタノデスガ、サウ云フコトハ大藏省トシテモ隨分御迷惑ナコトデアアラウト思ヒマスガ、實際カラ言フト又必要ナコトデゴザイマスカラ、若シサウ云フコトガ出來マスルヤウナラバ大變結構ダト思ッテ、一應御考ヲ承ッテ置キタイノデアリマス
○國務大臣(石渡莊太郎君) 郵便局デ預カルヤウニ致シテ居ルノデゴザイマスガ、是ハ今日ノ所一枚ニ付テ十錢ノ保管料ヲ取ッテ居リマス、是ハ私今ハッキリ覺エテ居リマセヌガ、保管料ハ、三十錢位デアッタカト思ヒマスガソレヲ昨年十錢ニ引下ゲマシテ、

極メテ安イ金デ之ガ保管ニ當ッテ居ルノデ
ゴザイマス、尙日本銀行ノ登錄公債アタリ
ニ此ノ郵便局デ賣出シマシタ公債ヲ持ッテ
來テ置キマス數量モ、相當多額ニ上ッテ居ル
ノデゴザイマス、此ノ外ノ問題ニ付キマシ
テハ、昨年此ノ小額公債ヲ發行致シマス時
分カラ、何トカシテ此ノ保管ノ途ニ付テハ
相當考ヘナケレバナラヌト思ッテ居タノデ
ゴザイマス、只今藤原サンノ御話デハ無手
數料ト云フ御話デゴザイマスガ、無手數料
デ扱フコトハ困難デアルカモ知レマセヌガ、
或ハ今少シ引下ゲル餘地ガアリヤ否ヤ、
モウ少シ研究シテ見タイト思ッテ居リマス
○稻畑勝太郎君 今ノ此ノ工場デ、地方等
デアルト官憲、知事ナンゾガ、工場ノ重役
或ハ擔當者ヲ御呼出シニナッテ、サウシテ公
債ヲ持テ、斯ウ云フ御勧誘ヲ爲サッテ居ルノ
デアリマスガ、是ハ誠ニ結構ナコトデア
リマスケレドモ、ソレニハ成ル程工場關係
者或ハ従業員等モ進ンデ自分ノ收入ナリ
「ボーナス」ノ幾分ヲ以テ公債ヲ持ツト云フ
コトニナッテ居リマスガ、併シ餘リ工場ノ
重役或ハ工場ノ擔當者カラ、職工ニ向ッテ公
債ヲ持テト云フコトヲ強制スレバ、却テ折
角國民トシテ、此ノ大事ナル時期ニ御奉公
スベキ國民ノ赤心ニ慙ヘルノハ結構デアリ

マスケレドモ、強制的ニヤルヤウナ感じガ
アッテ、工場ニ依ッテハ餘リ職工ニヤカマシ
クハ言ハナイト云フ所ガアリマスガ、サウ
云フ方面ハ、唯工場ノ經營者ノミニ此ノ公
債ヲ持テト云フコトノ御勧誘ノミニ止メズ
ニ、他ノ方面カラ矢張り大衆、即チ勞働者
モ進ンデ持ツト云フヤウナ方法ヲ御執リニ
ナッタラ如何カト思フノデアリマシテ、斯ウ
云フ點ニ於テ、マダ所謂鳴物入ノ勸告ト云
フコトニ缺陷ガアリハシヨマイカト私ハ感
ズルノデアリマス、ソレニハ矢張り餘リ官
憲ノ御勧誘デナクシテ、銀行トカ或ハ今ノ
郵便貯金デモ宜ウゴザイマスガ、此ノ貯金
デモ、保險ノ勧誘ヲスルト云フヤウナ人等
ガ勧誘モシ、同時ニ矢張り何トカ愉快ニ、
進ンデ大衆ガ公債ヲ持ツト云フ方法ヲ、現
在アル方法以外ニ御考ニナッタラ如何デア
ラウカト云フヤウナ感じガスルノデアリマ
シテ、之ニ付テ大藏大臣ノ御意見ヲ伺ヒタ
イト思ヒマス
○國務大臣(石渡莊太郎君) 是ハ一般的ニ
宣傳ニ依ッテ賣ル方面モアルト思フノデア
リマス、又一般ノ市民、商工業者等ニ付キ
マシテハ、是ハ仰セノ通り一般ノ宣傳ニ依
テ賣ルト云フコトノ方ガ或ハ一番能ク賣
レル、斯ウ云フ點デアルト思フノデアリマ

スガ、軍需品會社等ノ從業者等ニ付テハ、
是ハ矢張り陸海軍又ハ厚生省ト大藏省、各
方面ガ一致シマシテ、此ノ方ニ會社ヲ通ジ
テ勧誘スルト云フコトガ、今日迄ノ經驗カ
ラ考ヘマスルト一番實效ガアルヤウニ思フ
ノデアリマス、今稻畑サンノ仰シヤルヤウ
ニ、會社ヲ通ジナイデモット一般的ニ進ンデ
賣ル方法ヲ考ヘヨト、斯ウ云フ仰セデアリ
マスガ、是ハナカク實效問題トシテハ、
私ハ效力ガアルカナイカト云フコトニ付テ
多少ノ疑ヲ持ッテ居リマス、研究ハ致シマス
ガ、ドウモ會社ノ殊ニ職工等ノ從業者ニ對
シマシテノ公債ノ所有ト云フコトニ付テハ、
今日ヤッテ居リマスヤウナ會社ヲ通ジテノ
公債ノ普及ト云フコトガ一番實效ガアルヤ
ウニ考ヘテ居リマス、是ハ役所アタリデモ
一般ノ宣傳ト云フヨリハ、役所ハ役所デ以
テ皆ガ一纏メニシテ買ハウデヤナイカ、ト
云フ方ガドウモ多額ニ纏ッテ消化上效果ガ
アルヤウニ思フノデアリマスガ、御示ノ點
ニ付テハ更ニ篤ト考究スルコトニ致シタイ
ト思ヒマス
○稻畑勝太郎君 無論現今御採リニナッテ
居ル方法デ、會社ヲ通ジテ御勧告ニナッテ
居ルコトハ是ハ誠ニ結構デアリマスガ、併
シ私ハソレダケデハ、モウ一ツ職工ニ向ッテ

ハ徹底シナイヤウナ感じヲ持ツノデアリマ
シテ、ソレハモウ一層何カノ方法デ、會社
ヲ通ジテ御勧誘ニナルノト共ニ、又大衆ニ
向ッテハ公債ヲ持ツベキモノデアルト云フ
教育ヲスル方法ヲ御採リニナルコトガ必要
デアラウト思フノデアリマス、今日ノ御勧
誘ダケデハ、モウ一ツ十分ニ徹底セヌヤウナ
感じヲ持ツノデアリマシテ、決シテ今政府
ノ爲サレルコトヲ彼此申上ゲルノデアアリ
マセヌ、成ルベク國民ニ大衆ニ此ノ公債ヲ
持タスト云フコトノ結果ハ、或ハ會社ヲ通
ジテ應募スルト云フコトニナルカモ分ラヌ
ト云フコトニハ、他ノ矢張り側面カラ色々
ノ方法ニ依ッテ宣傳ヲ爲スト云フコトガ必
要デアラウト感じルノデアリマスガ、此ノ
機會ニ於テ大藏大臣ニ御考慮アラムコトヲ
御願ヒスル次第デアリマス
○子爵裏松友光君 皆サンカラ大藏大臣ニ
對シテ、若シモ御發言御質問ガナケレバ、
議事進行上、只今本會議ニ於テ北海道拓殖
銀行法中改正法律案、金資金特別會計法中
改正法律案、此ノ二ツ出マシタデスガ、ソ
レガ此ノ本委員會ニ併託ニナッタノデアリ
マス、ソレデ其ノ御説明ヲ當局カラ承ッテ
置イタ方ガ、議事進行上宜イデヤナイカト

思ヒマスガ、如何デゴザイマセウ

○委員長(子爵高橋是賢君) 如何デスカ、外ニ赤字公債ニ關聯シテ御質問ガナレバ、今裏松子爵カラノ御提案ガアリマスガ、左様御願ヒシテ宜シウゴザイマセウカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵高橋是賢君) 御異議ガナレバ當局カラ御説明ヲ願ヒマス

○政府委員(入間野武雄君) 北海道拓殖銀行法中改正法律案ニ付キマシテ御説明申上ゲマス、北海道拓殖銀行ハ、北海道及樺太ニ於ケル拓殖金融ヲ掌ル特殊使命ヲ以テ設立セラレ、當初カラ不動産銀行業務ト普通銀行業務トヲ併セ營ムコトヲ任務トシテ參ッタノデアリマスルガ、北海道及樺太ノ開發進展ニ伴ヒマシテ、同行ノ營ミマスル普通銀行業務ノ範圍ハ漸次擴張セラレマスルト共ニ、之ガ限度ニ關スル法律上ノ制限モ次第ニ緩和セラレマシテ、現在デハ普通銀行業務ニ屬スル資金ノ融通總額ハ、不動産銀行業務ニ屬スル貸出總額ヲ超ユルコトヲ得ナイト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、然ルニ近來北海道及樺太ニ於ケル經濟、産業ノ發展ニ伴ヒ、短期資金ノ需要ハ益々増加ノ傾向ニアリマシテ、之ガ爲同行ノ短期貸出モ著シク増加ヲ來シ、今ヤ其ノ法律上ノ制

限ノ限度ニ達セムト致シテ居ルノデアリマス、從ツテ今後此ノ制限ヲ存置致シマスル時ハ、北海道拓殖銀行ハ必要ナル短期資金ノ需要ニ應ジ得ラレナイコトニナル虞ガアリマスルノデ、茲ニ其ノ制限ヲ撤廢致シマシテ、地方金融ノ疏通ニ遺憾ナカラシメルコトガ必要ト思フノデゴザイマス、尙現在同銀行法ニハ年賦貸付ニ付テ据置年限及中間据置年限ヲ定メ得ル旨ノ規定ガナイノデアリマスガ、之ヲ定メ得ル旨ヲ明カナラシメマスル爲、日本勸業銀行法及農工銀行法ノ例ニ準ジマシテ、之ニ關スル規定ヲ設ケルコトヲ適當ト思フノデアリマス、改正ノ點ハ以上ノ二點デゴザイマス、宜シク御審議アラムコトヲ御願ヒ致シマス

○政府委員(相田岩夫君) 本委員會ニ付託セラレマシタ金資金特別會計法中改正法律案提出ノ理由ハ、本會議ニ於テ申上ゲマシタ通りデアリマシテ、現行ノ金資金特別會計法第四條ノ規定ニ依リマスレバ、金資金ハ之ヲ金、國債、產金振興債券、又ハ總額二千五百萬圓ヲ限リ、日本產金振興株式會社株式ニ運用シ得ルコトト相成ツテ居リマスル處、現下ノ時局ニ顧ミマスルニ、此ノ範圍ヲ擴張致シマシテ、其ノ他勅令ノ定ムルモノニモ運用シ得ルコトトシ、以テ國際收

支ノ改善及產金ノ増加ニ資スル爲、金資金ノ適切ナル運用ヲ期スルノ必要ガアルノデアリマス、尙同會計法第三條第二項ノ規定ニ依リマスレバ、金資金ヲ、產金ノ増加ヲ圖ル爲必要ナル費途ニ使用セムトスル場合ニ於キマシテハ、其ノ金額ヲ一般ノ歳入ニ繰入レ、一般ノ歳出トシテ拂出スコトナツテ居ルノデアリマスガ、本資金ヲ他ノ特別會計ニ於テ必要ナル產金獎勵ニ要スル經費ニ使用セムトスル場合ニ於キマシテハ、其ノ金額ヲ當該特別會計ノ歳入ニ繰入レ、當該特別會計ノ歳出トシテ拂出スノヲ適當ト認メマスコト等ニ依リマシテ、本法律案ヲ提出致シタ次第デゴザイマス、何卒御贊成ヲ願ヒマス

○委員長(子爵高橋是賢君) 政府委員ニ御願ヲ致シタイノデスカ、過般藤原委員カラ御要求ニナリマシタ「本邦會社債及銀行債發行高調、株式資本増加額調」ト云フモノヲ頂戴シテ居リマスガ、之ニ關聯シマシテ尙諸會社、銀行ノ積立金ノ累年ノ増加額、之ヲ御分リデゴザイマシタラ戴キタイト思ヒマス、ソレカラ今一ツハ内地、外地ノ累年ノ產金額ノ増加表、或ハ減ツテ居ル年モアルカモ知レマセスガ、累年ノ増加表、尙將來ノ増加ノ見込、斯ウ云フモノガ御分リデゴザ

イマシタラ御提出ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(入間野武雄君) 積立金ノ累年ノ増加表ニ付キマシテハ、出來ルダケ調査ノ上差出シタイト存ジテ居リマス、尙產金ノ額ハ只今發表シテ居リマセヌ關係ガアリマスノデ、出來マスコトナラ御容赦願ヘレバ仕合セト存ジマス

○委員長(子爵高橋是賢君) 比率ダケデモ如何デス、數字デナク、ドノ位ノ「パーセンテージ」ガ年々増加シテ居ルカト云フ……

○政府委員(相田岩夫君) 金ニ關シマスル數字ハ實ハ世間ニハ公表致シテ居リマセヌノデ、資料トシテ差上ゲマスコトハ御容赦ヲ願ヒタイト存ズルノデアリマスルガ、適當ナ機會ヲ御與ヘ願ヒマシテ御説明申上ゲルコトニ致シマシテ、ソレデ一ツ御諒解ヲ御願ヒシタイト思フノデゴザイマスガ、如何デゴザイマスカ

○委員長(子爵高橋是賢君) ソレデハドウゾ左様願ヒタイト思ヒマス、海軍省ノ方オイデデスカ

○藤原銀次郎君 海軍省ノ資料ハ是デ結構デゴザイマス

○委員長(子爵高橋是賢君) 此ノ表デ、ハッキリ比較ガ取レルカドウカ分ラヌト思ヒマ

スガ、一應政府委員カラ此ノ表ノ仕組ニ付テノ説明ヲ聽イテ見タラドウカト思フノデスガ……

○藤原銀次郎君 伺ヘレバ尙結構デスケレドモ、私ハ大概是デ……

○委員長(子爵高橋是實君) サウデスカ

○伯爵橋本實斐君 私ハ前回ノ委員會ニ於キマシテ、先般ノ枚方ノ火藥庫ノ爆發事故ニ關シマシテ、陸軍當局ノ御説明ヲ本日御伺ヒ致スコトヲ要求致シテ置キマシタガ、

丁度前回ノ委員會開催中ニ、竝行致シマシテ、本會議ニ於キマシテ陸軍大臣ヨリ詳細ナ御説明ガゴザイマシテ、新聞ヲ讀ミ速記録等ニ依ツテ承知致シマシタカラ、私ノ陸軍當局ニ對スル御報告ノ要求ハ撤回致シマス

○男爵深尾隆太郎君 是ハ大藏省ノ方ニ御伺ヒスルノガ適當デアルカドウカ分リマセヌガ、會計法ノ建前ニ付テチヨット伺ヒタ

イノデス、作業會計ト云フモノノ中ニ規定サレテ居ルモノハ印刷局、海軍火藥廠、海軍燃料廠、專賣局、此ノ四ツダケガ作業會計ニ規定サレテ居ッテ、同ジヤウナモノデ今同モ出テ居リマス海軍工廠、造幣局、陸軍造兵廠、千住製絨所ト云フヤウナモノハ、ソレノ海軍作業會計法、陸軍作業會計法デ律シラレテ居ルヤウデアリマスガ、是ハ

作業會計法中ニ一括シテ入レルト云フコト

ハイカスト云フ、何カ理由ガアルノデゴザイマスガ、或ハ歴史的ノ關係デサウ云フ別ノモノニナツテ居ルノデゴザイマセウカ、チヨット會計法ノ建前ヲ伺ヒタイ

○政府委員(入間野武雄君) 只今其ノ方ヲ主管シテ居リマスル政府委員ガ參ッテ居リマセヌ、何レ其ノ方カラ御説明申上ゲルコトニ致シタイト思ヒマス

○稻畑勝太郎君 只今藤原君カラ請求サレマシタ産金額ノ増加ガ、是ガ内外ノ産金ヲ計算シタモノヲ請求サレタノデアリマスル

ガ、此ノ産金ト云フモノハ、内地ヨリ主トシテ朝鮮、鮮滿地方ニアルモノト思ヒマスガ、殊ニ朝鮮ノ産金地デハ、朝鮮總督府ガ産金獎勵其ノ他ヲ掌ッテ居ラレルノデスカ、大藏省ノ命令ニ依テ朝鮮總督府ガ之ヲ施行サレルモノカ、ドウ云フ順序ニナツテ居リマスカ、チヨット參考ニ伺ヒタイ

○政府委員(相田岩夫君) 朝鮮ノ産金獎勵ニ付キマシテハ、政府ノ施設ト致シマシテハ、朝鮮總督府ガ朝鮮總督府特別會計ニ、産金獎勵ノ爲ノ經費ヲ計上致シマシテ、ソレデヤツテ居リマス、ソレカラ日本産金振興株式會社ト云フモノガ、御承知ノヤウニ昨年設立セラレマシテ、是ハ内地朝鮮兩方ニ

互ッテ、産金獎勵ノ爲ニ色々事業ヲヤル建前ニナツテ居リマス

○藤原銀次郎君 丁度大藏省ノ政府委員ニ御參考旁、私ノ希望ヲ申上ゲタイト思ヒマスガ、過日外國ノ新聞通信ノ方ガ私ニ對シテ色々日本ノ財政ノ問題ヲ尋ネラレマシテ、其ノ一番最後ニ、私カラ日本ノ産金高ヲ、是ハ私ハ唯自分デ唯サウ思ッテ居タモノデスカラ、例ヘバ十三年度ハ約二億圓乃至二億五千萬圓位産金ガアツテ、十四年度ハ三億カラ三億五千萬圓位アツテ、今後近キ將來

ニ於テハ日本ノ産金額ハ五億圓以上ニ達スルト、ダカラシテ日本ガ海外カラドウシテモ買ハナクチャナナイ物ヲ買フノニハ、此ノ産金ノ五億圓モアレバ、少シモ心配ナク自給自足デ總テノ賄ヒガ付クト、サウ云フヤウナ説明ヲ有力ナル新聞ノ通信員ニ致シマシタ、處ガ其ノ人ハ其ノ數字ヲ聽イテ驚キマシテ、サウスレバ日本ハ世界ニ於テ有數ノ金ノ産出國ニナルト云フコトニナルガ、我々ハ初耳デ、ソレ程日本ニ金ガアルト思ッテ居ナカッタ、斯ウ云フ風ニ非常ニ意外ニ思ッテ、色々質問ヲ致シマシタカラ、ソコデ私ハ、ソレハアナタ方ガ知ナイ方ガ間違デ、我々日本ハ金ノ産出國トシテ有數ナ、世界ニ有數ナ金ノ産出國デアル、今始

タコトデナク、昔カラ五百年モ六百年モ前カラ金ノ産出國デアツテ、日本ハ蓬萊ノ國ト云ツテ、支那人モ日本ニ來レバ金銀ガ山ノ如クアルト思ッタ、「マルコポーロ」ノ話ヲ聞

イテモ、日本ト云フモノハ非常ナ金ノ産地デアルト、斯ウ「ヨーロッパ」人モ思ッテ居タ、ソレガ明治ノアノ徳川幕府ノ時分ニ、皆「オランダ」ニ金ヲ持ッテ行カレテ、段々少クナクナツテ行ッテ、明治ニナツテ又新ラシク始メテ、元々日本ハ非常ナ金ノ産出國デアルカラ、昔ニ還ツテ金ガ非常ニ日本ニ出ルノダカラ、日本ノ國家ノ經濟ト云フモノハアナタ方ノ考ヘテ居ルヤウナソナ貧弱ナモノデナインダカラ、ト云フヤウナ説明ヲ與ヘマシタ處ガ、非常ニビックリシテ是非其ノ數字ヲ知リタイ、サウ云フコトデアルナラバ尙更知リタイト、斯ウ云フヤウナ希望ヲ持ッテ居ルノデアリマシテ、ソレデ私ハサウ云フ意味カラ考ヘルト云フト、日本ノ金ノ産出額ヲ、現在ノ産金額ガ幾ラデ將來之ヲ増加スルノダト云フコトヲ、外國人ニ知ラセテ、サウシテ金ノ是ダケノ産出額ヲ持ッテ居ルンダト云フコトヲ知ラセタ方ガ、我が國ノ財政經濟ノ信用ヲ維持スル上カラ云ツテモ、非常ニ事實國家ノ爲ニ利益デヤナイカト斯ウ思ッテ、實ハ御尋ネ致シマ

シタヤウナ譯デゴザイマスカラ、大藏省デ
之ヲ祕密ニナサイスルト云フコトニ付テ、
決シテ異存ヲ申スノデヤアリマセヌケレド
モ、サウ云フ風ニ之ヲ使ヘバ國家ノ爲ニ非
常ニ有利ダト思フテ、實ハ御尋ネ致シマシタ
ヤウナ譯デアリマス、若シ之ヲ公ニシテ差
支ナイヤウナ御考デゴザイマシタナラバ、
サウ願ヒタイト思ヒマス、又國家ノ今日ノ
際祕密ニシロト云フ御趣旨アレバ、我々
モ決シテソレヲ御方針ニ違フヤウナコトハ
致シマセヌ、ドウゾ其ノ積リデ適當ニ伺ヒ
タイト思ヒマス

○委員長(子爵高橋是賢君) 海軍ノ方ノ政
府委員ガ御見エニナリマシタガ、先刻御廻
シ願ヒマシタ、大正五年以來昭和十二年ニ
至ル工員ノ賃銀ノ狀況、及ビ御使用ニナッテ
居ル材料價格ノ騰落ニ付テノ、是ハ色々ナ
資料ニ付テモ御使用ノ種類ガ澤山ニアラウ
ト思フ、此處ニハ軟鋼、高張力鋼、罐管、
此ノ三種類ヲ御舉ゲニナッテ居ラレマスガ、
他ノ方面ノ材料ニ付テハ、左程大正五年以
來ノ價格ニ付テノ高下ガナイト云フコトカ
ラ、御省キニナッテ居ラレルノデセウカ、ド
ウ云フヤウナ所ニ此ノ數字ヲ御取リニナリ
マシタカ、一應チヨット御説明ヲ伺ヒタイノ
デス

○政府委員(山本丑之助君) 實ハ各品種ハ
隨分澤山ゴザイマスガ、各品種ニ互ッテ調査
ヲ致シタノデゴザイマスガ、ナカノ良イ
表ガ出來マセヌノデ、丁度此處ニ出シマシ
タノガ續イテ居ル譯デ、大變代表的ノ良イ
數字ト考ヘマシタダケデアリマス

○委員長(子爵高橋是賢君) ソレカラ工員
ノ賃銀ノ狀況ト云フ所ハ、平均月收ニナッテ
居リマスルガ、是ハ男工、女工及見習等モ
ツクルメタ所ノ平均デゴザイマスナ

○政府委員(山本丑之助君) 左様デゴザイ
マス

○委員長(子爵高橋是賢君) 此ノ表デチヨ
ット伺ヒタイト思ヒマスガ、昭和元年以來同
十年頃迄ハ大體大シタ差異ガナイヤウニ思
ヒマス、昭和十一年及十二年ニハ平均賃銀
ガ下ッテ居ルヤウニ見受ケルノデスガ、是ハ
何カ見習トカ女工ト云フヤウナ給料ノ少イ
職工ヲ澤山ニ御入レニナッタ爲ニ、斯ウ平均
ノ給料ガ下ッタノデセウカ、或ハ何カ特殊ノ
御關係デ賃銀ガ斯ウ下ッテ居ルノデセウカ
○政府委員(山本丑之助君) 是ハ此ノ頃カ
ラ段々事業モ殖エテ參リマシタ、ソレデ工員
モ澤山ソレニ相應致シマシテ殖エテ參リマ
シタ、其ノ工員ハ臨時工、詰リ不熟練ノモ
ノデアリマス爲ニ賃銀ハ安イノデアリマス、

安イ爲ニ平均カラ行キマスト云フト斯ウ云
フ狀況デアリマシテ、前カラ居ル者ガ少ク
ナッタト云フヤウナ爲デハゴザイマセヌ

○委員長(子爵高橋是賢君) 了承致シマシ
タ、デハコ、デ休憩ヲ致シマシテ、午後ハ
一時半カラ再開ヲ致シマス

午前十一時五十四分休憩

午後一時四十三分開會

○委員長(子爵高橋是賢君) 午前ニ引續キ

マシテ會議ヲ開キマス、先般藤原委員カラ
農林大臣ニ御出席ノ御要求ガアリマシタノ
デ、農林大臣ニオ忙シイ所ヲ差繰ッテ戴キ
マシテ只今御出席ニナリマシタノデ、大臣
ニ對スル御質問ヲ御願ヒタイト思ヒマス

○藤原銀次郎君 大臣ハオ忙シイ所ヲ御繰
合セテ御願ヒ致シマシテ誠ニ感謝致シマス、
私ハ大臣ニ、農林大臣トシテデナク國務大
臣トシテ御質問ヲ申上ゲタイト思ヒマス、
ソレハ過日來政府委員ト質問應答ヲ致シマ
シタ農業保險ノ問題デアリマスガ、此ノ保
險ノ内容ニ付キマシテ各委員ト共ニ連日質
問應答ノ結果、全體ノ保險ノ構成ニ付キマ
シテハ諒解ヲ致シマシタケレドモ、其ノ
質問應答中ニ、其ノ保險ト云フモノハ先ヅ
試驗的ニ御ヤリニナッテ居ルモノデアアル、政
府ニ於テモ確信ガ御アリニナルヤウニハ承

レナイノデアリマス、ソレデ段々ニ此ノ保
險法ヲ御施行ノ上ニ改正又改正ヲ加ヘラレ
テ、サウシテ他日ニ大成ヲ期スルト斯ウ云
フヤウナ御考ノヤウニ承ッテ居ル、尙ソレト
同様ナ保險ガ、家畜保險トカ森林保險トカ
云フモノガ、矢張り略、同様ナモノノヤウ
ニモ承ッテ居リマス、ソコデ私ノ此ノ愚問
ヲ出シマシテ、分リ切ッタコトデ、大臣ハモ

ウ民間ニ於テハ此ノ商工業ノコトヲヤッテ御
經驗ノアルコトデアリマスシ、又政黨ノ方
デハ領袖トシテモ世間ノコトニ非常ニ御通
曉ニナッテ居ル方デアリマス、又民間ニオイ
デニナッタ時カラモ、色々御主張モ御アリニ
ナッタノデアリマスカラ、茲ニ改メテ申上ゲ
ルノハ頗ル蛇足デアリマス、又ソシナコト
ハ申上ゲナイデモ十二分ニ御承知ノ方デア
リマスガ、併シ我々貴族院トシテハ、サウ
云フ分リ切ッタコトヲ申上ゲネバナライヤ
ウナコトハ如何ニモ殘念デアリマスケレド
モ、是モ申上ゲネバナラス責任ヲ感ジテ居
リマスカラ申上ゲルノデアリマスガ、先ヅ
以テ政府ノ保險ニ對スル御政策ヲ見ルト云
フト、簡易保險ト云フモノヲ逓信省デ御ヤ
リニナッテ居リマス、是ハ大分成績ガ良クテ
逐年保險金額モ殖エテ居リマシテ結構ノコ
トト思ヒマス、其ノ次ニハ健康保險トカ又

之ニ關聯シテ職員保險トカ、或ハ又船員ノ保險ト云フヤウナモノガ今度出ルサウデアリマスガ、サウ云フモノハ、今迄ハ内務省ノ系統ヲ御ヤリニナリ、今度ハ厚生省ヲ御ヤリニナル、サウシテ農業保險ニ關係シタコトハ農林省ヲ御ヤリニナツテ、サウシテ之ヲ監督スルコトハ商工省ヲ御ヤリニナル、斯ウ云フ具合ニ四ツノ省ニ跨ツテ同ジ保險ヲ御ヤリニナルト云フコトハ、ドウモ根本ニ於テドウカト思フノデアリマス、是ハ政府部内ニ於テモ無論サウ云フ議論ハ度々御アリニナツタト思ヒマスシ、又民間ニ於テモサウ云フ議論ハ始終出ルコトデアアルノデスガ、詰リ歴史ノ上デ、内務省デ健康保險ヲ御ヤリニナツタリ、逕信省デ簡易生命保險ヲ御ヤリニナツタリスル、段々歴史的ニ此ノ保險ガ發達シテ來タモノダカラ、斯ウ云フ風ニナツタノダラウト思ヒマスガ、併シ國家ノ行政機構ノ上カラ大キク考ヘルト云フト、是ハドウシテモ此ノ保險ト云フモノハ多クナル、是ダケ種類ガ多クナツタ以上ハ、中央ニ纏メテ一ツノ保險ト云フモノヲ、獨立ノ政府ノ行政機關ノ下デ御經營ニナルノガ本當デヤナイカト思ヒマスガ、マタ發達ノ餘地ノアル時ニハ是デ宜カッタケレドモ、是ダケ發達シテ來テ、是ダケ種類ガ殖エテ來テ、

四ツノ省ニ跨ルト云フ風ナ工合ニナツテ來タトスレバ、ドウモ此ノ儘ニシテ、各省割據シテサウシテ保險ヲ勝手ニヤツテ行クト云フコトハ、我々貴族院ノ方カラ眺メテ見ルト云フト、ドウモ頗ル了解ガ出來ナイヤウニ思フノデス、ソレデアリマスカラシテ、今日迄是ダケノコトヲ御ヤリニナツテ來タコトデアツテ、サウシテ何レモ皆其ノ趣旨ニ於テ贊成ノコトデアリマスシ、サウシテ農業ニ關スル保險ノ如キハ、愈々是カラ御ヤリニナルノダカラ、サウシテ之ヲ今試験的ニ御ヤリニナルノダカラ、此ノ試験的ニ御ヤリニナルコトハ誰ニデモ出來ル、之ヲ試ニヤルト云フコトハ出來ルガ、併シ之ヲ大成シテ、改正ニ改正ヲ加ヘテ本物ニ仕上ゲデ、是ガ日本ノ農業保險デアルト云フ所迄仕上ゲルノニハ、少クモ十年位掛ラナケレバ本當ノモノニナルマイト思ヒマス、サウ云フ非常ニムツカシイ仕事ヲ御ヤリニナルノニ付テハ、片手間ニ御ヤリニナルヨリハ、矢張り本當ノ保險業ノ専門「エキスパート」ガ寄ツテ、サウシテ研究ニ研究ヲ重ねテ、五年デモ十年デモ完成スル爲ニ努力ヲシテヤルト云フコトガ、一番宜イデヤナイカト斯ウ思フノデアリマス、ソレデアリマスカラシテ、此ノ農業保險ト云フヤウナコトニ付テ

ノ、今我々ノ前ニ提出サレテ居リマス此ノ問題ニ付テハ我々ハ異存ハナイノデアリマスガ、併シ今日我が國ノ時局ニ際シテ、總テノモノヲ革新又革新シテ、サウシテ國內ノ機構モ整ヘテ對外的ニ進ンデ行カナケレバナラヌト云フヤウナ、總テノ改革ヲ斷行スルノニハ最モ好イ機會ナンダカラ、斯ウ云フ機會ニ保險モ一ツ統一シテ、或ハ保險省ト云フヤウナモノヲ設ケルカ、或ハ保險院ノヤウナモノヲ設ケルカ知ラスガ、兎ニ角此ノ内閣ニ一ツノ獨立ノ機構ヲ作ツテ、サウシテ其處デ以テ一切ノ保險ノ行政ヲ御ヤリニナツタリ、保險ノ仕事ヲ御ヤリニナルト云フヤウナコトノ方が、時代ニ相應ハシイデヤナイカ、斯ウ云フ感じヲ以テマシテ、先達デカラ政府委員トノ間ニ質問應答ヲ致シタノデアリマス、就キマシテハソレニ對シテ、農林大臣トシテ農林行政ヲ御扱ニナルト云フ御立場デナシニ、國務大臣トシテドウ云フ風ニ御考ニナルカ、其ノ點ヲ伺ッテ見タイト思ヒマシテ特ニ御出デヲ願ツタノデアリマス

○國務大臣(櫻内幸雄君) 只今藤原サンカラ御質疑ノ點ハ誠ニ重大ナ問題デアリマシテ、私嘗テ商工行政ニ關與致シテ居リマシタ時ニモ、保險ノ問題ヲ將來ドウ云フ風ニ指導シテ行クトガ國家ノ爲ニ宜シイカト云フコトニ付テ相當考究ヲシテ見タノデアリマス、其ノ當時カラ保險事業ヲ統一シテ秩序アル狀態ニ於テ發達セシメルト云フコトハ、誠ニ宜イコトノヤウニ思ッテ調査ヲ進メテ居リマス最中ニ於テ、職ヲ去リマシタノデ、十分ナ調査ガ出來ナカッタノデアリマス、此ノ度農林行政ニ携ルコトニナリマシテ、丁度藤原サント同ジヤウナ感じヲ以テマシテ、實ハ入閣早々此ノ問題ニ付キマシテモ多少調査ヲ致シタノデアリマスガ、マダ十分ナ調査ハ完了致シテ居リマセスノデ、其ノ結論ニ付テ申上ゲルコトノ出來ナイノヲ甚ダ遺憾ト致スノデアリマス、唯農業保險ト云フ保險ハ、御承知ノ如ク全々他ノ保險ト性質ヲ異ニ致シテ居リマシテ、殊ニ農業保險ノ問題ハ、殆ド二十年來農業界ノ方デ論ゼラレテ、政治問題トシテ久シク取扱ハレテ居リマシタケレドモ、容易ニ其ノ實現ガ出來ナカッタノデアリマス、申ス迄モナク天候ノ加減ニ依ツテ收穫ノ問題ガアリ、或ハ農家個々別々ノ種々ナル違ッタ條件ノ下ニ耕作シテ居ルノデアリマシテ、今回出來マシタ農業保險ニ於キマシテモ、御承知ノ通り冷害デアルトカ、或ハ其ノ他特殊ノ流行スル病害蟲ニ付テハ其ノ保險カラ

除外シテ居ルヤウナ次第デアリマス、全然
是ハ特殊ナモノデアリマス、サウシテ矢張
リ農事關係者、農會デアルトカ、農事實行
組合デアルトカト云フヤウナモノノ協力ヲ
俟ツテ、此ノ仕事ヲ進メテ見ル、斯ウ云フ建
前ニ出來上ツテ居ルノデアリマシテ、從來ノ
農業保險ガ完璧ノモノトハ今御話ノ如ク確
信ヲ持ツテハ居ラナイノデアリマス、併シナ
ガラ此ノ程度カラ進シテ行ク外ハナイ、斯
ウ云フノデ、曩ニ農業保險ガ決定致シテ、
本年ノ四月一日カラ之ヲ實行ニ移シタイ、
斯様ニ存ズル譯デアリマシテ、出來得レバ、
總テノ保險ヲ一ツノ機構ノ下ニ置イテ、各
各ノ部面ニ於テ監督シテ行クト云フコトハ、
善イコトニハ相違ナイヤウニ考ヘマス、今
回ノ議會ニ於キマシテモ、或ハ船員保險ト
云フモノガ出、職員保險ト云フモノガ出、
色々ノ保險ガ出マスガ、是等モ統一シテ一
ツノ機關ノ下ニ置イテ、之ヲ整理シテ行ク
ト云フコトハ必ズシモ不可能ナコトデハナ
イヤウニ考ヘマス、考ヘマスケレドモ、之
ヲ何等ノ支障ナク運シテ行クト云フコトニ
付テハ、可ナリ研究考慮ヲ致サナケレバ出
來ヌデハナカラウカ、ソコニ於テ、船員ニ
關スルモノハ船員ノ監督官廳ガ之ヲ取扱ヒ、
又國民一般ノ保險ハ厚生省ガ之ヲ管理シテ

ヤル、斯ウ云フ風ヲ建前ニナツテ現在ハ進ミ
ツ、アルノデアリマシテ、今此ノ保險ノ問
題ニ對シマシテ、直チニ一元化スルト云フ
コトハ、總テノ方面ニ差障リガナク出來ル
カ出來ヌカト云フコトニ付キマシテハ、今
少シク調査ヲ致サナケレバ結論ガ得ラレナ
イ、斯ウ思フテ居ルノデアリマシテ、其ノ研
究ヲ持續スルコトニ付キマシテハ十分力ヲ
注ギタイト思ヒマスガ、只今ノ所デハ、矢
張り農家ニ關係ノアルコトハ農林省ガ所管
シテ行クト云フヨリ外途ガナイ、斯様ニ考
ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、尙今後ニ
於キマシテ、出來ルダケ速カニ十分研究致
シマシテ、其ノ結論ヲ得テ或ハ又御審議ヲ
願フヤウナ時期ガアルカト思ヒマスケレド
モ、只今ノ所ハ左様ニ考ヘテ居ル次第デア
リマス

○藤原銀次郎君 只今ノ大臣ノ御話ヲ承リ
マシテ、私モ多分サウ云フ風ニ御考ニナツ
オイデニナツテ、サウシテ今度ノ農業保險ニ
關スル法案ヲ御提出ニナリマシタモノト諒
解及ビ推測ヲシテ居リマシタ、唯私ノ申上
ゲテ御尋ヲシタノハ、今迄ノ所ハサウ云フ
歴史ヲ持ツテ、サウ云フ成行ヲ持ツテ、日本
ノ各種ノ保險ガ政府ニ於テ御實行ニナツ
テ參ッノデアリマスカラ、ソレハソレデ結構

ダト思ヒマスガ、併シ又之ヲ大キク考ヘルト
云フト、農業保險ト云フモノモ矢張り一種
ノ損害保險デアル、サウシテ先達テカラ色
色御話ヲ承レバ、通常ノ損害ト非常ノ損害
ト斯ウ分ケテ、非常ノ損害ハ政府デ負擔ス
ルトカ、通常ノ損害ハ政府デ負擔シナイト
カ、其ノ保險ノ掛金モ、郡ノ組合ニ幾ラ負
擔サセテ、縣ノ組合ガ幾ラ負擔シテ、其ノ
上ニ國家ガ之ヲ幾ラ負擔スルト云フヤウ
ニ、色々細カイ區分ヲ付ケテ、其ノ料率ヲ
割出シタリ色々サツテ居リマスガ、我々傍
カラ、此ノ保險ニ關係ノナイ又農業ノ組合
ニ關係ナイ者カラ見ルト、ドウモ區分ノ仕
方ガ果シテ公正ナモノデアルカドウカト云
フコトニ付テ、之ヲ細密ニ研究シテ行クト
云フト、色々議論モアツタリ、色々意見モ
アツタリシテ、果シテ今御ヤリニナツテ居ル
方法ガ完全ナモノノヤウニハ我々トシテハ
了解ガ出來ナイ、ケレドモ折角出來タモノ
デアツテ、先ヅ試驗的ノモノダカラ、之ヲ
ヤツテ見テ、惡イ所ハ漸次直シテ行カウト云
フ御考ノヤウデアリマスカラ、サウ云フ細
カイ議論ヲスル場合デナイノダカラ、兎ニ
角政府モ段々之ヲ改正シテ御ヤリニナルト
云フコトデアレバ、其ノ細カイコトニ付テ
ノ論議ヲスル必要ハナイト思ヒマシテ、大
體政府ノ御趣意ニ賛成スルト云フコトガ此
ノ場合適當ダト思ツテ、サウ云フ積リデ居ル
ノデアリマス、併シナガラソレハ今ノ場合
ハサウデアリマスガ、併シ根本論ヲ言ヘバ、
矢張り損害保險ト云フモノハ根本カラ損害
保險ナンダカラシテ、其ノ「エキスパート」
ガ詳シク農業ノ實情ヲ調べテ、サウシテ此
ノ農業ノ實情ニ適スルヤウニ、色々組立テ
テ行クト云フヤウナコトガ必要デアツテ、勿
論今日迄何十年ノ間、只今御話ノヤウニ御
研究ノ結果デアリマスカラ、御研究ニ御研
究ヲ重ネマシタモノトハ信ジマスガ、併シ
斯ウ云フヤウナ風ニ農林省ハ農林省、遞信
省ハ遞信省、商工省ハ商工省ト云フヤウナ、
各省毎ニ割據シテ御ヤリニナレバ、各省毎
ニ保險ノ「エキスパート」ト云フモノヲ、農林
省ハ農林省デ以テ根本カラ保險ノ「エキス
パート」ヲ揃ヘテ、スツカリ保險ト云フモノ
ノ組織ヲ作ツテサウシテ御ヤリニナラナク
チヤナラス、遞信省ハ遞信省デ又同ジモノ
ヲ作ツテ、サウシテ御ヤリニナラナクチヤナ
ラス、厚生省ハ厚生省デ又同ジ「エキス
パート」ヲ作ツテ、同ジ組織ヲ作ツテ、サウシ
テ御ヤリニナラナクチヤナラス、ト斯ウ云
フヤウナコトニドウシテモナル、サウシナ
ケレバ完全ナモノハ出來ナイカラ、矢張り

御ヤリニナルト云フコトニ付テハ我々異存ハナイガ、御ヤリニナルナラバ、一番良イモノヲ作ッテサウシテ短期間ニ完全ナモノニ之ヲ仕上ゲルト云フコトガ必要ダ、サウスルニハ其ノ専門ノ保險ノ完全ナ機構ヲ作ル、斯ウ云フコトニナリマスカラ、ソコデ例ヘバ今ノ農林省ノ組織ヲ申シマスト云フト、各局長ノ方モ二年カ三年デ御送リニナッテ行ク、サウスルト折角根本的ニ調査シタ人ガ送ッテ、新シイ人ガ又其ノ局ニ當ル、斯ウ云フコトニナラレルカラ、ドウモ何時迄經ッテモ「エキスパート」ト云フモノハナカナカ出來兼ネル、ケレドモ、是ハ保險ノ一ツノ専門ノ御役所ガ出來レバ、斯ウ云フヤウナモノハ十分出來テ完全ナ調査研究モ出來ル、斯ウ云フ風ニ我々素人トシテハ思フモノデスカラ、ダカラ、今ハ取敢ズ是デ結構デアリマスケレドモ、將來トシテハドウシテモサウ云フ風ニシテ完全ナモノヲ中央ニ纏メテ、サウシテ其ノ支部ノヤウナモノヲ農林省ハ置イテサウシテ農民トノ間ノ色々ナ關係ヲウマク調節シテ行クト云フコトニ御ヤリニナッタ方ガ、全體論トシテハ宜イノデヤナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ、モウ大體ノ極ク大雜把ナ議論デアリマスガ、サウ云フコトラナサルニハ、今ノ農林大臣ハ色々廣ク民間

ノ御經驗モ御アリニナルシ、ソレカラ只今御話ノ通りニ此ノ前ニモ商工大臣ヲ御ヤリニナッタリシテ、能ク民間ノ事情ニモ精通シテオイデニナルシ、廣ク御分リニナッテ御經驗ノ御アリニナル方ダカラ、一番適當デアリハセヌカ、斯ウ思ヒマシタカラ、實ハ斯ウ云フ愚問ヲ提出シマシタ譯デアリマス、モウソレ以上ニ何等ノ他意ハナイ譯デアリマスカラ、ドウゾ左様御承知ヲ願ヒマス

○國務大臣(櫻内幸雄君) 只今藤原サンノ御意見ハ傾聽スベキ御意見ト存ジテ居リマス、故ニ出來ルダケ十分研究致シテ見タイト思ヒマスガ、只今ノ所ハ此ノ案ニ依ッテ進ンデ行クヨリ方法ガナイノデアリマス、是ダケハ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○委員長(子爵高橋是賢君) 大臣ニハ二時ニ他ノ委員會ニ御出席ニナリマス、ソレカラ大藏省關係ノ質問ハ大概済マサレタと思ヒマスガ、マダナタカ御質疑ガゴザイマセウカ

○男爵深尾隆太郎君 先刻質問シタノニ回答ガナイノデスカ、是ハ後デ……

○委員長(子爵高橋是賢君) ソレデハ本日ハ是デ散會致シマシテ、明日午前十時ニ會議ヲ開クコトニ致シマス

午後二時六分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵高橋 是賢君
副委員長 男爵深尾隆太郎君
委員

公爵島津 忠承君
伯爵橋本 實斐君
子爵裏松 友光君
子爵綾小路 護君

小幡 西吉君

男爵伊江 朝助君

河田 烈君

西野 元君

稻畑勝太郎君

中村圓一郎君

藤原銀次郎君

野村茂久馬君

吉田羊治郎君

國務大臣

大藏大臣 石渡莊太郎君

農林大臣 櫻内 幸雄君

政府委員

大藏省理財局長 相田 岩夫君

大藏省銀行局長 入間野武雄君

大藏書記官 松隈 秀雄君

海軍主計少將 山本丑之助君

農林省農務局長 小濱 八彌君

頁 一四
段 一三
行 誤
スルカラ、
正
スルガ、

貴族院昭和十四年度一般會計歳出入ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案特別委員會議事速記録第七號正誤